



3 / 25土

待望の **長岡北スマートIC** 開通

便利さUP! 地域力UP!

インターネットチェンジ

渋滞緩和、安全・便利に **榎山町亀貝線**も **3月25日開通**

長岡北スマートIC ↔ 国道8号が一直線

同じ3月25日午後2時、長岡東バイパス亀貝ICと長岡北スマートICを東西に結ぶ、都市計画道路の榎山町亀貝線が開通します。

同線は、榎山町地内の国道352号から蔵王橋を経由し、亀貝町交差点に至る約5kmの広域幹線道路。このうち、平成18年度から県事業として整備を進めていた、JR信越本線稲葉踏切の立体交差と、栖吉川・福島江の渡河区間の延長930mの本線工事がついに完了しました。

信濃川と鉄道で分断された市街地北部の東西が結ばれたことで、交通渋滞の緩和やアクセスの向上、周辺に立地する工業団地などへの産業支援を図ります。



**産業振興に期待**

長岡鉄工団地 協同組合員  
株式会社オオイ 代表取締役社長 大井尚敏さん

流通面でどこに行くにも非常に便利ですね。新設の産業団地はもちろん、近隣の鉄工団地、北部工業地帯、商工業者にとって、地の利を活かして商売できることは本当にありがたいですね。ETC搭載の大型車も利用可能というのもいい。「インターのすぐ近く」だと営業もしやすくなります。産業の振興がさらにまちの活性化につながることを期待しています。

**観光誘客に期待**

寺泊観光協会 会長 山田栄三郎さん

開通を待ちに待っていました。一番のメリットは観光客に道案内をしやすくなります。そして時間短縮。関東方面からの観光客が寺泊にひと足早く入ることができます。5分でも10分でも短いのは印象がいいもの。PRしやすくなります。観光客がいるから寺泊に活力が生まれます。観光協会もこの機を逃さず、知恵を絞って観光客を呼び込みたいと思います。

3月25日午後2時、北陸自動車道、長岡JCTと中之島見附IC間に、長岡北スマートICが開通します。長岡南越路に続く市内2つ目のスマートICです。寺泊地域など市北部からの高速道路へのアクセス性の向上、観光交流の促進や産業基盤の強化、救急医療体制確保などへの波及効果が期待されます。市は引き続き、広域幹線道路のネットワーク強化に向け、スマートICへつながる左岸バイパス南北延伸の整備を進めます。下図・次ページ上参照

**交通利便性を活かし、長岡北スマートIC流通産業団地を整備**

長岡北スマートIC隣接の南側に産業団地を整備します。国・県と農地からの土地利用変更の協議を進め、平成32年度を目途に約28haの用地を順次分譲する計画です。大型の産業団地への企業誘致で、さらなる産業振興、雇用創出を図ります。

開通すると、こんな効果がある

- 1 利便性UP**  
高速道路15分以内の人口が約41,000人増!
- 2 広域観光UP**  
関東から寺泊へ 約6km、約9分短縮
- 3 企業活動UP**  
工業集積地の最寄りICとして営業・物流がスムーズに
- 4 広域連携UP**  
左岸バイパス南北延伸の整備